

はじめに

教育改革の流れの中で、いま学校では「確かな学力」を育むために、基礎・基本の定着を図り、児童・生徒一人ひとりの個性を生かす教育を目指し、特色ある教育活動を展開するための指導方法や具体的な手立て等について、研究し、開発することが求められています。

こうした中、総合教育センターでは、本年度も長期研修員 27 名が一年間、所属の学校を離れ、広い視野に立って教育課題について考察し、当センターのもつ機能を生かしながら、教員としての資質向上と学校教育の充実を目的として研鑽を積んでまいりました。その研究内容は、子どもの自己学習力を育むカリキュラム開発研究、カリキュラム・マネジメントに関する研究、特別支援教育の展開に関する研究等多岐にわたっております。

このたび、一年間取り組んだ研究の成果を、ここに「長期研修員研究報告第3集」としてまとめ、発刊する運びとなりました。いずれの論文も、それぞれの教育の場で直面する喫緊の課題を研究主題とし、理論分析や検証授業、教材開発を通して課題の解決に迫ったものであり、各学校のこれからの教育実践の一助となるものと確信しております。

紙幅の関係もあり、十分に意を尽くしていない部分もあるかと思いますが、ご一読いただき、この研究報告の内容につきまして率直な御意見をいただければ幸いです。

おわりにになりましたが、長期研修員の研修・研究に際しまして、御支援・御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成 17 年 3 月

神奈川県立総合教育センター

所 長 清 水 進 一